



褥瘡(床ずれ)のケアについて

褥瘡(床ずれ)とは？

脊髄損傷や脳梗塞などで、寝たきりが続くと背中、お尻の皮膚が、すりむけて潰瘍をつくる。褥瘡は治療できるし、なによりも予防が大切です。

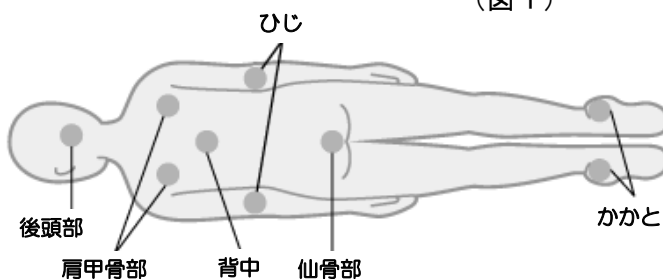
原因

皮膚が長時間圧迫されると、その部分の血流が遮断されます。通常ならば人は眠っている間でも無意識に身体を動かして圧を分散させるので褥瘡は出来ませんが、病気や体調不良により、それが出来なくなり褥瘡が出来やすくなります。栄養状態が良くない事も悪化する原因です。

【仰向けに寝ている場合】

(図1)

好発部位



【横向きに寝ている場合】

ひざの内側で
すれる部分



予防

よく「予防に勝る治療はない」といいますが、褥瘡ほどこの言葉の重みを持った疾患はありません。まず2時間以上続けて同じ部位の皮膚が圧迫されないようにする必要があります。

早くみつつけて処置すれば潰瘍まで進むのを防ぐ事が出来ます。この段階が進むと皮膚が、まず白くなりやがて黒くなって壊死に陥り、皮膚が脱落すると深くえぐれ脂肪層、黄色い皮下脂肪が露出します。さらに進むと骨が露出し進んだ褥瘡の場合、患部をたっぷり

ます。つまり頻回の体位交換が重要となります。また皮膚のケアが要求され、除圧ベントを用いる事も大事です。腰、大腿部といった排泄物で汚染されやすい場所に来るので感染の防止も大切です。栄

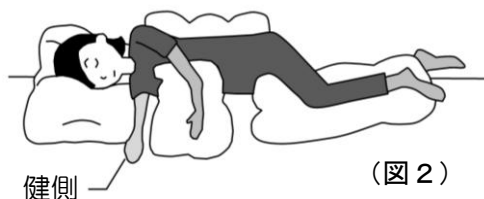
治療

養面でも出来る限り十分なタンパク質を摂るなど栄養摂取に心がけましょう。
骨のでっぱりの上の皮膚が、多少赤みを帯びていたら要注意です。赤みを帯びた部分に圧迫がかからぬよう

のぬるま湯でよく洗浄した後、抗生剤入りの軟膏や被覆材を利用して治療していきます。場合によっては手術する事もあります。
褥瘡の予防や治療のためのケアは在宅で介護する方にとって負担は大きいものです。ひとりでは責任を背負わず医師や介護に関わる人

頻回な体位交換を行う必要があり
ます。

(図2)



(図2)

と相談しあつて進めていきましょう。(看護師 大島 とき子)

